

冬送り春迎える、そんな心わくわくする好季節になってまいりました。毎度格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

季節のご挨拶かたがたダイレクトメール春号をお届け申し上げます。

早速ながら私播磨屋助次郎は、次代徳仁天皇の守護神になる覚悟を固めました。今さらではございますが、次代徳仁天皇と私播磨屋助次郎は、体は別々でも心は

同じ「異体同心」の間柄なのでございます。

ご存じのように、人間は誰も皆、生まれながらに「真心」を有しています。

人間のこの本性、よくよく考えてみれば、実に不思議な自然の妙でございます。

人間一人一人は、決してバラバラではなく、真心（天あるいは神仏の心の投影）を通して、相互に固く結び合わされている間柄なのでございます。

分けても、純粹な真心人間同士は、天に二心なしと言われますように、互いに全く同じことを思ったり願ったりしているものなのでございます。

環境問題を抜本解決し、この星地球に生きる全ての生命いのちたちに、本来あるべき安心と幸せを取り戻してやりたい——こう願って止まない純粹真心において、次代徳仁天皇と私播磨屋助次郎は、まさに「異体同心」そのものなのでございます。

天岩戸が開いて神性天皇ご出現となるか、それともまたまた天皇モドキか、人類存亡の刻限まで残り一年余、徳仁天皇守護神は死力を尽くすのみでございませぬ。

親愛なる次代徳仁天皇と同胞各位の未来に、大いなる幸いと栄光あれよかし!!

ともあれ、またいつものように春のご用をおうかがい申し上げます。

おすすめは、断然お買い得な春の超徳用袋まつりの各品々でございませぬ。

平成三十年 二月 ネコヤナギ芽吹ころ

あるじ 播磨屋助次郎 敬白